



寺子屋、福先生のつぶやき

12



子育てのライフステージ

幼児編

家庭教育支援ラボ 寺子屋「福」主宰 龍福 史朗

5段階に分類される 子育ての節目

子育てには、いくつかの節目(ライフステージ)があります。本稿では、それぞれの節目に応じた指導のポイントについて考えたいと思います。子どもの成長の過程はまちまちで個性があり一律ではありませんから、おおよその目安として考えていただければと思います。

子育てのライフステージ

I	幼児期	0～5歳
II	少年前期	6～12歳
III	少年後期	13～15歳
IV	青年前期	16～18歳
V	青年後期	19～22歳

生まれてから22歳までを子育ての全期間と想定し、ライフステージを5段階(I～V)に分類します。

ちなみに少年前期・後期が義務教育で、青年前期が高等学校及び専門学校①、青年後期が大学及び専門学校②に該当します。では、親子の縁が最も深い幼児期から話を進めましょう。

ステージ I 幼児期(0～5歳) 動物から人間へ…

このステージでは、左記の4つの項目を達成して、豊かな人生を築くための基礎的素養を身に付けることが主な目標となります。

1 『しつけ』という教育的手段によって社会生活に必須な生活習慣を身に付ける

集団の規範、規律や礼儀作法を身に付けることができれば、保育園や幼稚園、間もなく入学する学校生活に無理なく適応できます。動物は皆、この時期に親が我が子を『しつけ』ます。このことにより、それぞれの動物が持つ独自の生活環境に即した様々な生きるための能力の基礎を身に付けることができます。人間も例外ではなくこのしつけが疎かになると、人間としての社会生活に馴染むことが遅れてしまい、以後のステージで身に付ける能力の取得にも悪影響を及ぼしてしまいます。

2 大自然や動物とのふれあいから、命の大切さや雄大な自然の息吹を感じ取る

親子や仲間での大自然とのふれあいは、極めて教育的価値の高い営みです。

短時間でも、近くの公園や野山で密度の濃いふれあいを心がけましょう。猫や犬、小鳥などの動物や、海や山など雄大な大自然とのふれあいから命や自然の大切さを学びます。また、親同士の間話から人間社会のルールが学べます。そのような様々な自然との関わりが我が子の人格の形成に大きく関わります。

3 様々な『遊び』から、空間認知能力などの基礎的能力を養う

このステージの子どもは、様々な能力が自然と身に付く世代でもあります。石ころ遊びから算数を学び、ボール遊びから現実的な距離感を知り、積み木遊びから立体の感覚をつかみ、周りの会話から言葉を覚え、小鳥のさえずりから音楽を学びます。このような遊びの体験によって、様々な事象への知的欲求が高まり、将来の才能の開花につながります。

4 読み聞かせによって、感情豊かな視野の広い心を育てる

我が子が眠る前のわずかな時間に読み聞かせを実践しましょう。子どもの好みに応じて様々なジャンルの絵本を読んでもらう。心豊かな望ましい人間性を育てるのが目的ですが、学習の基本となる読解力も無理なく身に付きます。この力は将来の学力向上に寄与するでしょう。

幼児期は人生で最も親子の関係が深い時期であり、最も幸福な時期かもしれません。幸福な人生には欠かせない『豊かで思いやりに満ちた心』は、こうした親子の望ましい教育環境から生まれるものです。

紙面の都合で要点だけになってしまいました。詳細は後述します。お楽しみに！

家庭教育支援ラボ
寺子屋「福」



宇都宮市 滝の原 1-1-1
株式会社ダイワ内

Tel: 028-633-4534

<http://kosodateclub753.com>